

D 17 服装における女らしさについて - 女らしさを左右するデザイン要素 -

松阪女短大○川本栄子 上島雅子 渡辺澄子 近畿大豊岡女短大 黒田喜久枝
愛知女短大 奥田聡子 聖母女学院短大 中沢乃智子 奈良女大家政 中川早苗

目的 女子学生の服装における女らしさの評価と好みの傾向、および女らしさの評価基準については既に検討した¹⁾²⁾。服装における女らしさを評価する場合、衣服を構成する形や色、素材など様々なデザイン要素が大きく左右すると考えられる。今回は服装における女らしさの評価に影響しているデザイン要素は何であることを明らかにした。

方法 ①1986年、1987年の服装雑誌から選び出した350スタイル写真について女子学生約100名に服装から受ける女らしさを7段階評定で評価させ、各スタイルの評定平均値を算出した。②350スタイルについて、衣服を構成しているデザイン要素を、形、色柄、素材の面からアイテム・カテゴリを作成し分類した。③女らしさの評定平均値4.00を基準に女らしい服装スタイルと女らしくない服装スタイルの2グループに分け、これを外的基準にし、服装スタイルのデザイン要素を説明変数として数量化Ⅱ類による分析を行った。

結果 相関比が0.860であったことから、説明変数に用いたデザイン要素が服装スタイルの女らしさの判別に大きく寄与しているといえる。変数のレンジと偏相関係数より、女らしさの評価に大きく寄与しているアイテムは、下衣の形、上衣のトーン、上衣・下衣のデザインディテール、上衣・下衣の色相であることが明らかとなった。また、ケース得点のグループ別度数分布や累積百分率のグラフから、判別の中率93%とかなり高い中率で両グループを判別することも明らかとなった。

1)高林、中沢、中川：服装における女らしさについて（第1報）女らしさの評価と好みの傾向、繊維機械学会誌投稿中

2)渡辺、川本、上島、中川：服装における女らしさについて（第2報）女らしさの評価基準、繊維機械学会誌投稿中